

# ふれあいネットワーク 社協あやせ

Ayase Council of Social welfare

「社協」とは社会福祉協議会を略したものです。

第 116 号

2012年 4 月

編集・発行  
社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会  
〒252-1192 綾瀬市早川550番地  
綾瀬市役所内  
☎ (0467) 77-8166

URL <http://www.ayase-shakyo.or.jp/>

E-mail: [info@ayase-shakyo.or.jp](mailto:info@ayase-shakyo.or.jp)

## より皆様に身近な「社協(しゃきょう)」へ 「綾瀬市社協発展強化計画」を策定しました。

綾瀬市社協は、地域福祉充実のためボランティア活動の振興、福祉教育の推進、在宅福祉サービス事業の実施、地区社会福祉協議会の支援・活性化、介護保険事業の実施、法人後見事業の実施など時代のニーズに沿って、様々な事業に取り組んできました。

しかし、いまだ「社協って何?」「社協はどんな仕事をしているところなの?」という問いかけがあり、残念ながら住民の方々に十分認識されていない現状にあります。

本計画は、「社協は住民の方々に認識されていない」という反省に立ち、住民の方々と協働し地域福祉活動を進めるためにも、「いかにして社協を知ってもらえるか」「いかにして地域に見える社協になるか」をテーマとして策定いたしました。

基本目標として6つの柱を定め、事業の現状を分析し、「事業の課題」「進むべき方向性」「課題解決のための具体的な方策」を検討し、2ヵ年計画(平成24年度～平成25年度)としてまとめたものです。

本計画に沿って、社協活動の発展・強化に役職員一丸となって努めてまいります。

### 綾瀬市社協発展強化計画

住民主体の地域福祉発展を目指して  
綾瀬市社協見える化計画

#### 基本目標

- ① 地域のニーズに敏感な社協になる
- ② 社協に求められる事業を積極的に展開する
- ③ 社協だからできる財源確保に取り組む
- ④ 地域のネットワークを広げる社協になる
- ⑤ 住民主体で進める社協の体制をつくる
- ⑥ 地域に見える社協をつくる

#### 基本計画

- ① 住民の声に耳を傾ける仕組みづくり
- ① 事業を客観的に評価できる仕組みづくり
- ② 社協らしい事業の探求
- ① 安定的な自主財源の確保
- ② 公益・収益事業の活性化
- ① 地区社協との連携
- ② 他関係機関との連携
- ① 組織体制の強化
- ② 職員のスキルアップの充実
- ① 社協を知ってもらうための取り組み
- ② 情報発信の強化

### 目次

綾瀬市社協発展強化計画策定	1
知ってほしい身近な福祉④ ～車いすの介助について～	2
地区社協ニュース	3
平成24年度 事業計画・予算	4・5
住民参加型移動支援事業 (あやせ送迎サービス) 活動紹介	6
あやせボランティアセンターからのお知らせ あやせ福祉サービスセンターからのお知らせ	7
善意の灯・総合相談事業案内 平成23年度 共同募金の最終報告	8

### 綾瀬市の人口・世帯数 4月1日現在

人口 ..... 83,366人  
世帯 ..... 32,114世帯  
(綾瀬市ホームページ引用)

# 知ってほしい身近な福祉④

## ～車いすの介助について～

### ●介助の前に

路上で困っているところを見かけたら、手助けが必要かどうか声をかけてください。「段を越えたいのだろう」と判断して、いきなり後ろから押したのでは、誰だってびっくりしてしまいますし、足が足板に乗っていない場合は、ケガをする場合もあります。今回は、2つの介助の方法を紹介します。


### ○段差越え

**1**



ティップングレバーを踏み、グリップを押し下げてキャスターをあげます。

**2**



キャスターを静かに段の上ののせます。

**3**



グリップを持ち上げると同時に、後ろ脚をけて、前脚に重心を移しながら後輪をのせます。  
降りるときは、この逆の順序で後ろ向きに下ろします。


### ○溝越え

**1**



溝にはまらないように、ティップングレバーを踏み、キャスターを上げます。

**2**



溝を越えたところでキャスターを降ろします。

**3**



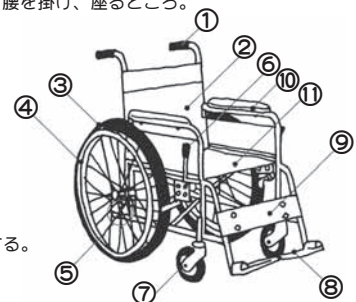
グリップを持ち上げて、後輪を通過させます。

車いすの介助は、正しい知識さえ持てば決して難しいものではありません。乗っている人の立場にたつて、優しい介助を心がけてください。動かす前には、乗っている人の足が足板に乗っていることを確認し、少しの間の停止でもブレーキをかける習慣をつけましょう。

### 各部の名称

- ① ハンドグリップ  
介助者が車いすを押す時に握る部分。
- ② 背もたれ(バックレスト)  
上半身を支え、からだを休めるための部分。
- ③ 駆動輪  
車いすの後方にある大きい車輪。
- ④ ハンドリム  
車いすに乗っている人が車輪を動かす時にこぐ、金属製の輪。
- ⑤ ティップングレバー  
フレームの一部で車輪の下で後ろに延びている部分。
- ⑥ ブレーキ  
駆動輪を固定するためのもの。
- ⑦ キャスター(自在輪、小車輪)  
前の小さい車輪。前進する時の安定をはかり、方向変換を容易にする。
- ⑧ 足板  
足をのせておく部分。

- ⑨ レッグレスト  
下腿部を支持するところ。
- ⑩ アームレスト(肘あて、肘おき、肘かけ)  
いすの肘かけに当たる部分。
- ⑪ シート  
腰を掛け、座るところ。



# 地区社協ニュース

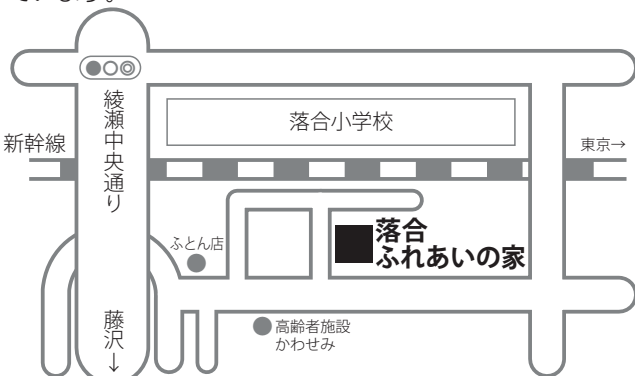
現在、市内に14箇所の地区社協が設置され、各地区社協ごとに地域福祉活動推進のため、さまざまな活動を展開しています。そこで、今回は落合地区社協と大上地区社協を紹介します。

## 落合地区社会福祉協議会

### 市内2箇所目の「ふれあいの家」誕生

この度、綾瀬市より落合地区社会福祉協議会が指定管理を受け、落合南一丁目3番33号に2箇所目のふれあいの家が誕生しました。名称は、「落合ふれあいの家」です。3月28日(水)無事に開所式を迎え、4月1日より住民の方々にご利用いただけるよう運営を行っています。

ふれあいの家は、誰でも気軽に利用できるように落合地区住民だけでなく、老若男女・仲よし仲間や、子育て中の方々の雑談の場として、また散歩途中にちょっと立ち寄れるそんなふれあいの家を目指していきたくと思っています。



落合地区社会福祉協議会の活動拠点が出来たことで、いろいろな事業を企画し住民の皆様と一緒に活動をしていきたいと思っています。いきいきサロンでは、お茶のみサロンや折り紙サロンと・・・役員一同頑張っていますので、皆様のご利用をお待ちしています。

落合地区社会福祉協議会 会長 戸田 輝國

## 大上地区社会福祉協議会

大上地区社協が指定管理者として管理・運営している「深谷大上ふれあいの家」は、平成22年4月に開館して以来利用者が増え、平成23年度の4月からの1年間で利用者は、昨年度の5,214名より792名増の6,006名となりました。

特に毎週火曜日は「火曜喫茶店」として、大上地区社協の岩月理事が店長を務めて開店。毎週火曜日は、誰もが自由に立ち寄り、自由におしゃべりができる日とし、月に1～2回の催事を企画して地域の人達に親しまれています。



その催事を紹介すると、次のような企画展です。  
 4月＝大上の歴史・戦前編、5月＝絵手紙展、6月＝東日本大震災現地報告会、パッチワーク・キルト展、7月＝七宝焼の展示と制作、8月＝戦争と当時の生活展、9月＝高齢者パソコン教室(3回)、10月＝笑いとおしゃべりいっぱい市、11月＝モスリンと端縫い展、藤と竹の工芸展、12月＝北の台中学校工芸部員の作品展、着物リフォーム展、和紙人形展、1月＝新年の集い、布遊び・つるし雛展、2月＝昭和展、3月＝青少年の犯罪・非行防止を語る、鎌倉彫と木目込み人形展、仏像彫刻とポタニカルアート展

このような催しが開催されましたが、特に北の台小学校、中学校と連携しての催事で、児童・生徒も見学に来館することが増えたことは特筆に値するといえます。



# 平成24年度 事業計画・予算



昨年3月11日に日本はこれまでに経験したことのない、マグニチュード9、震度7という大震災と向き合うこととなりました。それは、「東日本大震災」と命名され、範囲は東北から関東全域までに及びました。震災当日はこの地震に誘発されるように遠く離れた長野県や山梨県でも、震度6強の地震が発生しさらには千葉県では大規模な液状化現象に、福島県の原因事故と日本全体がこの災害に大きな苦しみと悲しみに包まれました。

しかしながら、被災された方々を日本全国民が「絆」という言葉を胸に助け合いました。災害において強い助けとなるのは、人と人とのつながりや、支えあいであり、それこそが「共助」地域福祉とすることができます。

本市においても「共助」の精神に基づき活動する地区社会福祉協議会が市内全域に設置されています。本会では新たな気持ちのもと、災害対策と支援を地区社協活動の活性化とともに、市民の皆さんとの協働により積極的に推進してまいります。

また、「第三次綾瀬市地域福祉活動計画」（平成26年から5ヵ年）策定の検討をスタートし、地域の課題を地域住民が解決する「共助」の精神の醸成を図るとともに、平成23年度に策定しました内部計画であります「綾瀬市社協発展強化計画（綾瀬市社協見える化計画）」の具体化に努めてまいります。

さらには、サービスセンター事業の見直しも含め、新たな支援体制を検討し再編を進めてまいります。

今年度も、地区社協をはじめ行政、福祉団体、福祉施設等関係機関との連携協働により「ともに支えあうまちづくり」を推進するため、次の重点課題に取り組みます。

## 一般会計収入支出予算

(単位：千円)

収入の部	予算額	支出の部	予算額
会費収入	9,400	人件費支出	124,902
寄附金収入	1,333	事務費支出	4,397
分担金収入	500	事業費支出	21,904
経常経費補助金収入	59,533	貸付事業等支出	3,000
助成金収入	130	共同募金配分金事業費	200
受託金収入	14,206	助成金支出	9,357
事業収入	925	負担金支出	0
貸付事業等収入	3,000	経理区分間繰入金支出	13,812
共同募金配分金収入	5,090	積立預金積立支出	15,128
負担金収入	72	予備費	1,500
介護保険収入	52,247		
自立支援費等収入	12,468		
雑収入	846		
受取利息配当金収入	1,178		
会計単位間繰入金収入	2,000		
経理区分間繰入金収入	13,812		
積立預金取崩収入	12,460		
繰越金	5,000		
合計	194,200	合計	194,200

## 職員配置状況

(平成24年4月1日現在)

福祉事業関連	
事業区分名	配置人員
法人運営事業	常勤(8名)
ボランティアセンター活動事業	非常勤(2名)
あんしんセンター事業	嘱託(2名) 非常勤(3名)
生活福祉資金貸付事業	非常勤(1名)
サービスセンター事業	嘱託(1名) 非常勤(5名)
居宅介護支援事業	嘱託(3名)
訪問介護事業	嘱託(3名) 非常勤(24名)
障害者自立支援事業	嘱託(兼務3名) 非常勤(兼務24名)
計	常勤(8名) 嘱託(9名) 非常勤(35名) 計52名
収益事業関連	
事業区分名	配置人員
会館管理経営事業	非常勤(3名)
売店事業	非常勤(4名)
計	非常勤(7名)

## 収益事業特別会計収入支出予算

(単位：千円)

収入の部	予算額	支出の部	予算額
受託金収入	5,000	売上原価	20,520
事業収入	27,404	人件費支出	6,958
受取利息配当金収入	6	事務費支出	3,862
雑収入	60	会計単位間繰入金支出	2,000
繰越金	1,230	法人税、住民税及び事業税	360
合計	33,700	合計	33,700



## 重点課題

- 1 第三次綾瀬市地域福祉活動計画の策定
- 2 新たな災害対策と支援体制の確立
- 3 綾瀬市社協発展強化計画(綾瀬市社協見える化計画)の具体化
- 4 サービスセンターの事業の再編

### 一般会計事業／収益事業特別会計事業

#### I 一般会計事業 (◎は新規事業)

- 第二次地域福祉活動計画書の普及・啓発
- 第二次地域福祉活動計画の進行管理
- 第三次地域福祉活動計画書の策定
- 地域福祉活動計画推進委員会の開催
- ◎ 社協あやせ30周年記念号発行
- 社協あやせの発行(年4回)
- 福祉の仕事知ってもらおうプロジェクトの開催
- 社会福祉大会(社会福祉表彰式)の開催
- 福祉ふれあいまつりの開催
- 福祉レクリエーション大会の開催
- 地域福祉事業交付金の交付
- 福祉当事者団体等事業助成金の助成
- 福祉団体連絡会の開催
- 福祉団体交流紙の発行支援
- 小中学校福祉推進事業の実施
- 苦情解決調整委員会の開催
- 福祉当事者相談事業の実施(電話相談のみ)
- ◎ 総合相談事業の地域試行開催
- あやせボランティアセンターの運営
- ボランティア入門講座等の開催
- 青少年体験学習の実施
- 災害ボランティアセンター立上げ訓練の実施
- 福祉ボランティアグループ事業助成金の助成
- 地区社協活動支援
- 地区社協活性化モデル事業の実施
- 地域福祉活動リーダー研修の開催
- あやせ地域支えあいサポーター研修の実施  
(地域開催)
- ふれあいいいききサロン事業の助成

- 地区社協会長連絡協議会の開催
- 地区社協活動実践発表大会の開催
- 地区社協活動強化推進事業
- 法外緊急援護事業の実施
- 交通遺児激励事業(県社協受託事業)の実施
- 共同募金配分金事業
- 災害時あんしん袋配布事業
- 地域福祉権利擁護事業の実施
- 法人後見事業の実施
- 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)の実施
- 簡易小口生活資金の貸付
- あやせ福祉サービスセンター事業の運営
- 車いす貸出事業の実施
- 地区別高齢者男性料理教室の開催
- 移送サービス事業の実施(市受託事業)
- 住民参加型生活支援事業の実施
- ファミリーサポートセンター事業の実施  
(市受託事業)
- 住民参加型移動支援事業の実施
- 福祉基金運営事業の実施
- 居宅介護支援事業の実施
- 訪問介護事業の実施
- 障害者自立支援事業の実施



#### II 収益事業特別会計事業

- 会館管理経営事業(市指定管理者)
- 売店事業(市職員厚生会受託事業)

# 住民参加型移動支援事業 (あやせ送迎サービス) 活動紹介

あやせ福祉サービスセンターで運営している在宅福祉サービスのひとつに、「あやせ送迎サービス」があります。市内に在住する単独で公共の交通機関を利用することが困難な方(資格要件あり)を対象に、外出の支援を行う会員方式による実費負担のサービスです。

現在、運行の調整を行う「調整協力会員」1名と、12名の「運転協力会員(ボランティア)」が、自己の所有する自家用車で活動しています。

月に1度開かれている“運転協力会員定例会”で、「活動を始めたきっかけ」「活動に対する想い」をお聞きしましたので、紹介させていただきます。

会社勤めをしていた頃は仕事におわれ、地域の方の顔も知りませんでした。妻が福祉の仕事をしていたこと、知り合いがこの事業に携わっていたことがきっかけで、自分にも何か手伝えればと思い、始めました。

初めて行く利用会員さんのお宅や、初めて行く場所には、事前に下見をして安全に運行できるように心掛けています。

会社人間で自分のことだけを考えて生きてきました。退職後、地域に還元できればと始めました。自身の孫と同年齢の学生の送迎に関わり、とても張り合いになっています。

自身も障害を持つ子供を育てました。周囲にお世話になったときの感謝の気持ちで、お役に立てればという想いです。

息子が大和で送迎サービスを行っていたので私もやってみようと思いました。

平成12年発足の「あやせ送迎ボランティアグループ」から活動を続けています。現在は、調整協力会員として運行の調整をしています。運転協力会員が少なく、対応できないケースもあるので、ひとりでも多くの方に協力していただければと思っています。

「ありがとう」  
「今日も助かりました」  
「またお願いします」  
利用会員さんからその言葉をいただいたとき、心が通ったときに充実感を感じます。

定年後、社会との関わりのため、始めました。両親の介護を経験したもとに、利用される方の気持ちになって接すること、安全運転を最優先に心掛けています。いつも、利用会員さんより、パワーをもらっています。



## あやせボランティアセンターからのお知らせ

### 「音声訳ボランティア養成講座」開催

視覚障害者の方達にお届けする、市広報や本会広報紙などの音声訳の技術を学びます。

- 日 時：6月5日から7月24日  
毎週火曜日(全8回)
- 時 間：10時から12時まで
- 場 所：綾瀬市役所 他
- 募集人数：20名  
※申込順(5月2日から募集開始)
- 受講料：300円
- 問合せ先：あやせボランティアセンター  
(電話70-3210)

綾瀬市録音赤十字奉仕団「コスモスの会」とは…

視覚障害のために「広報あやせ」「あやせ市議会だより」「社協あやせ」「テープ雑誌」などを録音し提供するボランティアグループです。また、日本赤十字奉仕団や市ボランティア連絡会に加盟し市身体障害者福祉協会の会員との交流会や視覚障害者(視覚部)の活動協力等も行っていきます。

### 「ボランティアさろん」参加者募集

使わなくなった毛布にメッセージを縫い付けてアフリカに送る活動を行います。

同時に、使わなくなった毛布も募集します。皆様のご自宅に眠っている毛布がありましたら、ボランティアセンターまでご連絡ください。

- 日 時：5月19日(土) 14時から16時まで
- 場 所：綾瀬市福祉会館
- 主 催：綾瀬市社会福祉協議会
- 共 催：明社もみじの会
- 問合せ先：あやせボランティアセンター  
(電話70-3210)

※切れている毛布、  
汚れのひどい毛布は  
お受け取り出来ません。

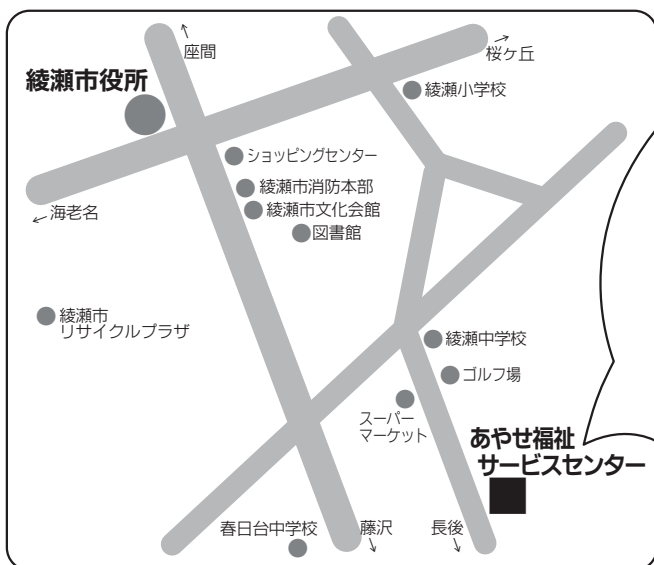
みなさまの  
参加をお待ち  
しています。

ボランティアさろんとは、誰でも気軽に参加できるボランティア活動の場として実施します。事前申し込みは必要ありません。  
当日、直接会場へお越しください。

## あやせ福祉サービスセンターからのお知らせ

# サービスセンターが移転しました

平成24年3月に、あやせ福祉サービスセンターは、お隣の建物に引っ越しをしました。今まで、あやせ福祉サービスセンターで行っていましたがそのまま従前どおり行っています。電話番号などに変更はございませんが、相談・お立ち寄りの際は間違えのないようお願いいたします。



お気軽に  
おこし下さい!

お問い合わせ先：あやせ福祉サービスセンター 電話 77-8667

# 善意の灯

平成24年1月1日から  
平成24年3月31日まで（敬称略、順不同）

次の方々から寄付がありましたので、ご報告いたします。

## 物品（3件）



大和法人会 女性部会 綾瀬支部  
ひまわりグループ  
匿名 1件

## 寄付金（8件 163,921円）



大上第1むつみ会  
シルバー人材センター女性部もみじ会  
ドレーパー記念幼稚園  
くらのや お客様一同  
綾瀬幼稚園父母の会  
たかはしクリーニング お客様一同  
社協窓口募金箱  
匿名 1件

寄付者の皆様、誠にありがとうございました。  
社会福祉のために役立たせていただきます。



# 福祉相談案内

## 総合相談事業のご案内

市民の福祉・生活相談に応じるとともに、さまざまな生活援助や福祉サービスに結びつけるために、福祉に関する総合相談事業を実施します。  
お気軽にご相談ください。

- 相談日 毎週月曜日から金曜日  
※電話相談可
- 時間 8時30分から17時まで
- 場所 市社会福祉協議会事務局  
(綾瀬市役所1階13番窓口)

※「心配ごと相談」事業は平成23年度をもちまして終了しました。

## 福祉当事者相談事業

障害・介護のことでお悩みの方。綾瀬市内で活動をする当事者（車いす利用者や介護経験者）がお話をお聞きます。

※場合によっては在宅訪問相談も可能です  
**※お電話で随時受付けています。**

お気軽にお問い合わせください。

- 車いす利用者 にしかわ かずお (西川 和朗氏 電話 76-7026)
- 介護経験者 わたべ ようこ (渡部 庸子氏 電話 78-4434)

# 温かいご支援ありがとうございました。

## 平成23年度「共同募金運動」の最終報告

### 赤い羽根 共同募金



前号(115号)でもご報告しました「共同募金運動」ですが、その後、新たに戸別募金や法人募金、市内50か所に設置し期間中ご協力を頂きました「卓上型募金箱」からの募金がありましたので、今号で最終報告をさせていただきます。

## 平成23年度実績 確定金額

募金種別	募金金額
戸別募金	8,088,598
個人大口募金	70,205
街頭募金	141,903
法人募金	1,227,000
学校・校内募金	57,610
職域募金	103,621
その他	123,319
合計	9,812,256

(単位：円)